

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 共同ピーアール株式会社

コード番号 2436 URL <http://www.kvodo-pr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上村 巍

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 信澤 勝之

TEL 03-3571-5172

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	2,820	△6.9	△158	—	△158	—	△88	—
24年12月期第3四半期	3,028	△0.7	62	24.2	67	27.1	△2	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 △91百万円 (—%) 24年12月期第3四半期 5百万円 (△31.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△71.63	—
24年12月期第3四半期	△1.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	1,868	955	51.1	776.98
24年12月期	1,884	1,065	56.5	866.08

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 955百万円 24年12月期 1,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,786	△14.1	△182	—	△182	—	△135	—	△110.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	1,260,000 株	24年12月期	1,260,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	30,317 株	24年12月期	30,293 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	1,229,687 株	24年12月期3Q	1,232,126 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、デフレ脱却及び経済再生の実現に向けた各種経済政策の効果などを背景に輸出の持ち直しや生産増加の動きが見られ、景気は緩やかに回復しつつあるものの、海外景気の下振れリスクが依然残っており、引き続き先行不透明な状況で推移いたしました。

PR業界につきましては、企業の広報やマーケティングに対する予算は未だ抑制されたままであり、厳しい状況での事業展開となりました。

このような環境の中、当社グループは、新規リテイナー契約の獲得に向けて下半期も積極的な営業活動を行っており、前連結会計年度期初より減少傾向にあったリテイナー顧客数は順調に回復しています。特に地方自治体や官公庁、IT業界を中心とした外資系企業からの引き合いが増加しました。単発プロジェクト業務を受託するスポット&オペショナル及びペイドパブリシティについては、新規問い合わせや引き合いが増加し、新規案件を受注できた結果、当第3四半期連結会計期間においては前年同期並みの売上高を計上することができましたが、当第3四半期連結累計期間では前年同期を下回りました。

国内連結子会社の共和ピー・アール株式会社は、安定顧客の維持及びスポット案件の発掘に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。株式会社マンハッタンピープルについては、既存はもとより新規サービスも軌道に乗れ売上高は前年同期比85.8%増と伸張しました。

海外子会社の共同拓信公関顧問（上海）有限公司については、既存リテイナー顧客の契約継続に加え、代理店経由でのスポット案件の開拓が奏功し、また為替の影響もあり、売上高は前年同期を上回りました。

また当社グループは、通期業績予想の下方修正を受けて収益構造及び財務体質の抜本的な改善に取り組んでおり、その一環として、本社の賃貸部分の一部返還や人件費を含めた販管費の削減を進めております。これらの実施によって、当第3四半期連結会計期間において、事業構造改善費用43百万円を特別損失として計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,820百万円（前年同期比6.9%減）となり、利益面については、固定費や経費の圧縮、及び固定資産の売却等資産の効率的利用に取り組んだ結果、営業損失158百万円（前年同期は62百万円の営業利益）、経常損失158百万円（前年同期は67百万円の経常利益）、四半期純損失88百万円（前年同期は2百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,467百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が142百万円減少した一方、現金及び預金が133百万円、未成業務支出金が31百万円、及び繰延税金資産が56百万円増加したことによるものであります。固定資産は401百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円減少いたしました。これは主に、建物及び構築物（純額）の減少36百万円、投資有価証券の減少38百万円、保険積立金の減少17百万円等によるものであります。

この結果、総資産は1,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は633百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少27百万円、短期借入金の減少21百万円、預り金の減少9百万円、未払消費税等の減少9百万円等があったものの、1年内返済予定の長期借入金の増加83百万円によるものであります。固定負債は279百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が98百万円増加した一方で、役員退職慰労引当金が28百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は913百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は955百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が106百万円減少したことによります。

この結果、自己資本比率は51.1%（前連結会計年度末は56.5%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想については、当第3四半期連結累計期間における業績は、概ね計画通りに推移しており、現時点において平成25年8月12日に公表した「第2四半期業績予想と実績との差異、通期業績予想及び配当予想の修正、役員報酬の減額並びに役員退職慰労引当金の取崩しに関するお知らせ」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	538,617	672,206
受取手形及び売掛金	759,262	616,264
未成業務支出金	31,989	63,530
その他	61,851	121,107
貸倒引当金	△3,543	△5,645
流動資産合計	1,388,176	1,467,462
固定資産		
有形固定資産	143,381	103,784
無形固定資産	3,018	5,962
投資その他の資産		
破産更生債権等	181,452	181,431
その他	349,738	291,639
貸倒引当金	△181,452	△181,431
投資その他の資産合計	349,738	291,639
固定資産合計	496,138	401,387
資産合計	1,884,315	1,868,849
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	184,296	157,286
短期借入金	206,400	184,500
1年内返済予定の長期借入金	—	83,736
未払法人税等	6,416	3,769
その他	218,271	204,512
流動負債合計	615,384	633,805
固定負債		
長期借入金	—	98,108
退職給付引当金	150,941	148,588
役員退職慰労引当金	52,958	24,225
その他	—	8,678
固定負債合計	203,900	279,600
負債合計	819,284	913,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	419,900	419,900
資本剰余金	360,655	360,655
利益剰余金	289,426	182,901
自己株式	△16,042	△16,058
株主資本合計	1,053,939	947,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,350	3,617
為替換算調整勘定	2,740	4,429
その他の包括利益累計額合計	11,091	8,046
純資産合計	1,065,030	955,444
負債純資産合計	1,884,315	1,868,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,028,985	2,820,700
売上原価	1,130,158	1,115,920
売上総利益	1,898,827	1,704,779
販売費及び一般管理費	1,836,036	1,863,591
営業利益又は営業損失(△)	62,790	△158,811
営業外収益		
受取利息	88	96
受取配当金	277	347
受取賃貸料	2,678	2,466
保険解約返戻金	2,780	774
その他	1,457	1,178
営業外収益合計	7,283	4,863
営業外費用		
支払利息	1,160	3,462
売上割引	55	296
為替差損	836	396
その他	35	10
営業外費用合計	2,088	4,164
経常利益又は経常損失(△)	67,986	△158,112
特別利益		
固定資産売却益	30	—
投資有価証券売却益	—	34,814
役員退職慰労引当金戻入額	—	29,033
特別利益合計	30	63,847
特別損失		
固定資産売却損	10,529	—
固定資産除却損	36	13
投資有価証券評価損	5,397	—
事業構造改善費用	—	43,668
過年度決算訂正関連費用	41,580	—
特別損失合計	57,543	43,682
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	10,473	△137,947
法人税、住民税及び事業税	1,281	2,609
法人税等調整額	11,353	△52,477
法人税等合計	12,634	△49,867
四半期純損失(△)	△2,161	△88,079

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
四半期純損失(△)	△2,161	△88,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,981	△4,732
為替換算調整勘定	△92	1,688
その他の包括利益合計	7,889	△3,044
四半期包括利益	5,727	△91,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,727	△91,124

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、PR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。